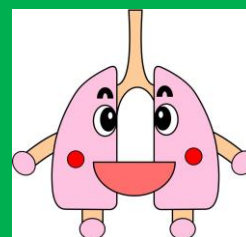


多摩府中保健所感染症週報

平成31年 第7週 (2月11日~2月17日)



肺えもん

今週の傾向

★インフルエンザの発生報告数は減少していますが、警報レベルで流行が続いており、引き続き注意が必要です。

★手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

| 定点 | 疾患名 | 多摩府中保健所管内 | | 東京都内 | |
|---------|------------------|-----------|-------|-------|-------|
| | | 第6週 | 第7週 | 第6週 | 第7週 |
| インフルエンザ | インフルエンザ | 28.45 | 12.67 | 25.25 | 10.32 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | 0.15 | 0.29 | 0.16 | 0.24 |
| | 咽頭結膜熱 | 0.10 | 0.19 | 0.18 | 0.16 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 2.25 | 1.48 | 2.25 | 1.73 |
| | 感染性胃腸炎 | 7.55 | 7.14 | 7.01 | 5.55 |
| | 水痘 | 0.35 | 0.67 | 0.42 | 0.35 |
| | 手足口病 | - | 0.05 | 0.11 | 0.08 |
| | 伝染性紅斑 | 1.50 | 1.10 | 0.87 | 0.68 |
| | 突発性発しん | 0.25 | 0.57 | 0.30 | 0.30 |
| | ヘルパンギーナ | - | 0.05 | 0.02 | 0.01 |
| | 流行性耳下腺炎 | 0.10 | 0.10 | 0.05 | 0.04 |
| | 不明発しん症 | 0.05 | 0.10 | 0.04 | 0.03 |
| | 川崎病 | - | - | 0.01 | 0.01 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | - | - | - | - |
| | 流行性角結膜炎 | - | 0.33 | 0.24 | 0.11 |
| 基幹 | 細菌性髄膜炎 | 0.50 | - | 0.04 | 0.04 |
| | 無菌性髄膜炎 | - | - | - | 0.08 |
| | マイコプラズマ肺炎 | 1.00 | 0.33 | 0.08 | 0.08 |
| | クラミジア肺炎 (オウム病除く) | 1.00 | 0.33 | 0.08 | 0.04 |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) | 0.50 | - | 0.33 | 0.36 |
| | インフルエンザ (入院) | 5.00 | 3.67 | 4.58 | 2.24 |

今週の状況 …過去 5 年間の比較

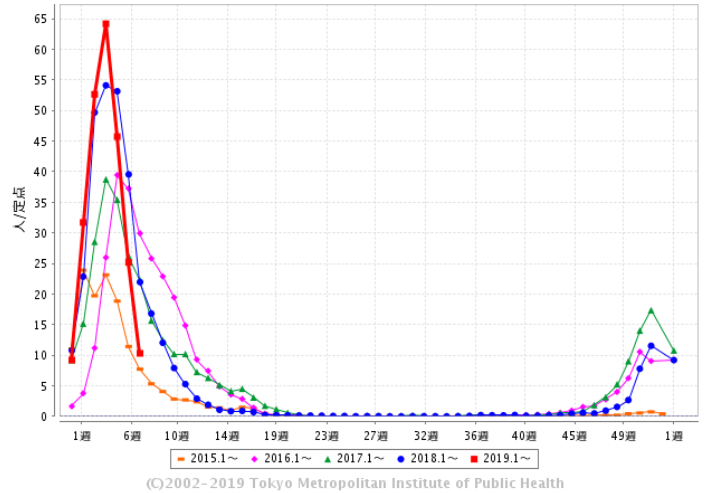
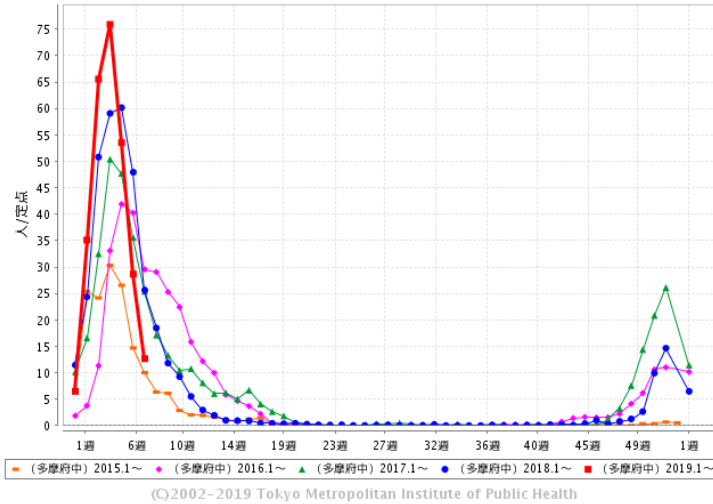
赤線は 2019 年第 7 週までの定点当たりの報告数

●インフルエンザ：報告数は減少傾向ですが、警報レベルで流行が継続しています。

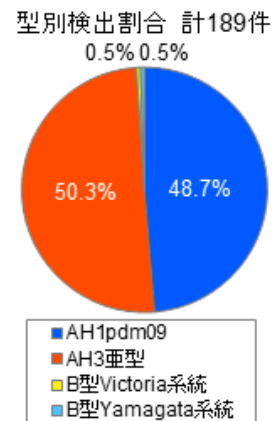
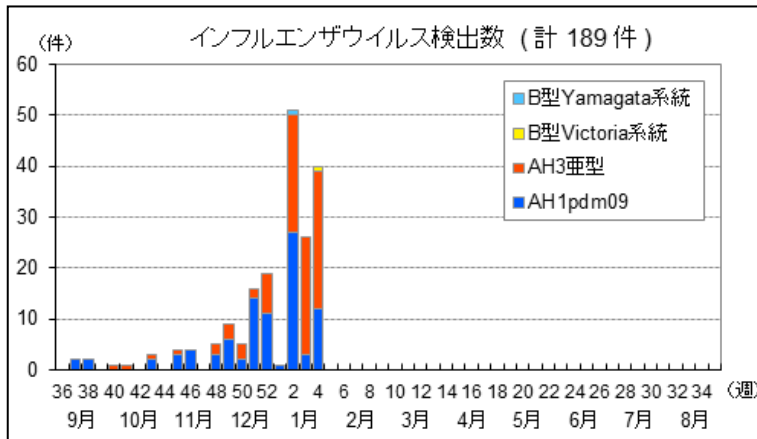
(※インフルエンザの警報レベル終息基準値は、10 人／定点当たり報告数 です。)

多摩府中保健所管内

都内



●東京都 インフルエンザの状況



4 週までに定点医療機関から東京都健康安全研究センターへ搬入された 189 検体のうち、AH1pdm09 型が 48.7%、AH3 亜型が 50.3%を占めています。

参考：東京都感染症情報センターHP「インフルエンザの流行状況」<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/flu/>

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは？：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第 14 条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届けることになっています。

参考) 指定届出機関（定点医療機関）

インフルエンザ定点：管内 33 機関（都内 419） 小児科定点：管内 21 医療機関（都内 262）

眼科定点：管内 3 機関（都内 39）

基幹定点：管内 3 医療機関（都内 25）



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当

TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報